

鳥羽市・サンタバーバラ市 中学生交換派遣事業 ホームステイ体験記

総務課秘書係 ☎ 25 1105

市内の中学生4人が7月25日から8月5日にかけて、姉妹都市サンタバーバラ市(米国)を訪れ、8月7日～8月16日の間サンタバーバラ市の中学生をそれぞれの家庭が受け入れました。すばらしい体験をした中学生のみなさんにサンタバーバラ市での体験などについて話していただきました。

サンタバーバラで学び 経験したこと

長岡中学校2年 奥村俊馬

僕は、サンタバーバラに行つて色々な事を経験し学ぶことができました。

一番楽しかったのは、海へ行ったことです。日本と違い水温がとても低く寒かったけど、サーフィンをして、とても楽しい時間を過ごせました。海の色は、青いキレイな色をして、鳥の鳴く声が聞こえてきました。

また、僕が食べたいと思っていたハンバーガーを4個も食べれました。すごくおいしかったです。肉が何個も乗っていて、10cmくらいの大きさですごく香ばしい香りがありました。

また、野球も見たいと思っていたので、見れてすごく嬉しかったです。球のスピードやバッターの迫力があって、すごく面白かったです。日本と違い、応援団のようなのはなかったです。静かな応援でしたが、甲子園より小さい鳥羽市営球場のような球場で、ホームランを打っているのを見てすごいと思いました。

僕は、サンタバーバラに着いて、英語だけの国で、自分

の思っている事が伝わる心配だったけど、ちゃんと通じた時はとても嬉しかったです。伝わらない時は、日本語を少し話せるベンジのお父さんにサポートしてもらいながら話しました。

サンタバーバラの気候はとても涼しく、海や山がとてもきれいで、アメリカの砂漠気候を肌で感じる事ができて良かったです。

最後に、サンタバーバラに行けるようにしてくれた人達に感謝します。もう一度アメリカ・サンタバーバラ市に行つて、ホームステイ先だったベンジファミリーと交流を深めていけたらいいなと思います。今度、クリスマスカードを送ろうと思います。



交換留学生として サンタバーバラへ

答志中学校2年 橋本竜誠

今回の話があり、最初はサンタバーバラへ行くことを迷っていました。僕が住んでいる離島・答志島とは全然違う風景、街並み、生活習慣、見るもの、聞くこと、感じることをすべてが初めてで感動の連続でした。

初めての海外で、言葉が通じるのか。滞在中、ホストファミリーと仲良くできるのかと不安もたくさんありましたが、ベンの家族は、とても優しく出迎えてくれたので、緊張感がほぐれました。言葉の面でも、最初は自分から話すことができませんでしたが、時間がたつにつれて、だんだん慣れて話せるようになりました。

サンタバーバラへ到着し、翌日から毎日のように日程が組まれていて、さまざまなおへ連れて行ってもらいました。答志では見られない景色を見たり、経験したり、毎日が夢のような時間でした。その中でも一番印象に残っていることは、ベンの家族は「トライアスロン」が趣味で、毎週行われているイベントがあり、



その「5km RUN」に参加したことです。僕は、あまりマラソンや持久走は得意ではないのですが、サンタバーバラの大自然の中、たくさんの街のみなさんに応援してもらいながら走り切りました。毎週走っているベンよりも速く走れたこと、189人中95位で、ベンの家族からアスリートと言われたこと、走り終えた後は達成感でいっぱいになりました。

そして、毎日のように、たくさんのかたに会えて、自己紹介や英語でのやりとりも最初の不安感が全然なくなって、毎日が楽しかったです。欲を言えば、サンタバーバラへ行く前にもっと英会話をできる

ようになっておきたかったと思います。そうすれば、鳥羽や答志島についても、もっとくわしく話すことができたのではと思います。

これから、もっと勉強して、2年後にはもう一度サンタバーバラへ行きたいです。そしてベンとベンの家族に会いたいと思っています。

この夏休みは、僕にとってもとても充実した夏休みになりました。



I spent a good time in Santa Barbara.

加茂中学校2年 中村真菜

私は初めて海外へ行きました。英語が通じるかとても不安な気持ちで鳥羽を出発しました。

サンタバーバラで初めての私の英語が通じたとき、本当に嬉しかったです。今までずっと悩んでいたことが全て無くなりました。最初のころは、自分は英語が上手く喋れない

からと思って質問されたことに答えることで精一杯でした。でも、文法がいくら間違っても、真剣に私の話を聞いてくれました。なので、私はどれだけ間違った英語でも自分から話すことはとても大切だと感じました。それと、言葉が違ってもコミュニケーションはとれるんだと思いました。私が1番の目的としていた「サンタバーバラの文化を知る」ことができました。それは、「行事を大切にする」ということです。サンタバーバラでの大きな祭り、フィエスタは毎年開催されています。フィエスタに参加させてもらって楽しかったことはもちろん、昔からの文化を大切にしているのだと思いました。

ホームステイ先のケイトとその家族は、私を盛大に歓迎してくれました。とても優しく、笑顔溢れる家族でした。ケイトも私もシヨップिंगが大好きで、毎日のようにシヨップिंगをしてとても楽しめました。いつの間にかサンタバーバラでの生活にも慣れていて、自分の家に居るような感じで過ごしていました。サンタバーバラは過ごしやすく、良い人達ばかりでとてもよかったです。絶対にもう一度

行きたいと思いました。

今回の交流事業に参加させてもらえて、他の学校の友達や、海外の友達ができとてもうれしかったです。またこの8人で集まりたいです。貴重な経験をさせていただいて、ありがとうございました。

私にとって、一生記憶に残る夏休みになりました。



サンタバーバラで学んだこと

答志中学校2年 小林文菜

私は、鳥羽市の交換留学生として、サンタバーバラへ行ってきました。日本を出発する日、私は、自分のクラブのチームメイトや、学校の先生方など、たくさんの人たちに見送ってもらい、日本を出発しまし

た。

サンタバーバラに着いた時、ホストファミリーの人たちが、私を快く迎えてくれました。私のホストシスターであるマディの家に着いてからも、私が不安にならないように、ホストファミリーの人たちが常に話しかけてくれていました。私は、飛行機やバスの中でも不安だらけだったけど、少し安心しました。私のホストファミリーが、この人たちでよかったです。

そして、私がサンタバーバラに行く主な目的としていた日本とアメリカの生活の違いや、将来の夢のためのことなど、いろんなことが勉強できてとてもよかったです。

サンタバーバラでは、フィエスタという行事があつて、私にとってそれが一番楽しかったです。卵の中に紙吹雪が入っていて、それを頭の上でぶつけあったり、浴衣を着てパレードを見たりして、いろんなお店も出店していたので、お土産などをたくさん買いました。

日本に帰国する日、マディのお母さんは、私をととても大切にしてくれていたので、別れるのはとても寂しかったです。

マディが、日本に来てからも、お盆と一緒に浴衣を着て踊ったり、みんなでバーベキューをしたりして、とても楽しかったです。マディと別れる時は、約20日間も一緒にいたので、とても寂しかったです。次、また会う時は今よりもっと英語を上達して、マディとたくさん話したいです。

この交流事業で、人とのコミュニケーションの大切さなど、いろんなことをたくさん学ぶことができました。また、機会があればサンタバーバラへ行って、マディや彼女の家族にも会いたいです。

この交流事業に関わっていただいたり、サポートしてくれていた人たちにとても感謝しています。本当にありがとうございました。

